

事業所名

放課後等デイサービスHEARTS

支援プログラム (参考様式)

作成日

8年

1月

12日

法人（事業所）理念		子供が楽しく通え、親からも提供サービスに満足してもらえるような事業所づくりを心掛け、子供の思いと親の想いがうまく結びつくような事業所にしていく。					
支援方針		一人ひとりの心に深く寄り添い、言語・運動・学習の基礎を丁寧に育みます。多彩な特別レジャーを通じた「生きた体験」を重視し、子供たちの自信と未来の可能性を広げます。					
営業時間		9時	0分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本 人 支 援	健康・生活	「第二の家庭」として、子供たちが心から安らげる心理的安全性を最優先に確保し、情緒の安定を図ります。その上で、視覚支援や環境の構造化を取り入れ、手洗い・うがい・整理整頓・身だしなみといったADL（日常生活動作）の確実な定着を促します。スタッフが一人ひとりのペースに根気強く寄り添い、小さな成功体験を積み重ねさせることで、将来の自立生活の基礎となる「自己管理能力」と「規則正しい生活リズム」を養います。					
	運動・感覚	「感覚統合療法」の視点に基づいた運動プログラムを実施し、楽しみながら固有受容感覚や前庭感覚を刺激して身体図式（ボディイメージ）の発達を促します。トランポリンやサークル運動などの粗大運動で体幹を鍛えて姿勢保持能力を高めると同時に、微細運動（指先の操作）を通じて脳機能を活性化させます。不器用さや感覚過敏からくる生活のしづらさを軽減し、自信を持って活動できる「しなやかな心と身体」を作ります。					
	認知・行動	お子様の認知特性（見て理解する・聞いて理解する等のタイプ）を見極めた個別の学習支援を行い、スマールステップで「わかった！」「できた！」という自己効力感を高めます。宿題のサポートだけでなく、スケジュール管理や気持ちの切り替えトレーニングを通じて、感情コントロール力や実行機能（計画・行動・抑制）を強化し、見通しを持って落ち着いて課題に取り組む「学ぶ姿勢」を育みます。					
	言語 コミュニケーション	語彙の拡充（言葉の数を増やす）に加え、相手の表情や場の空気を読む「語用論的スキル（文脈理解）」の向上を重点的に支援します。カードゲームやごっこ遊びの中にSST（ソーシャルスキルトレーニング）の要素を自然に取り入れ、自分の気持ちを適切に伝える発信力と、他者の意図を汲み取る受信力をバランスよく育て、集団の中で円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を磨きます。					
	人間関係 社会性	HEARTS最大の特徴である「特別レジャー」を療育の実践の場と位置づけ、公共交通機関の利用や買い物体験などを通じて、社会のルールやマナーを実地で学びます。また、集団活動の中で役割（リーダー係、配膳係など）を担うことで「自分は役に立つ」という自己有用感を高め、他者と協調して社会に参加する意欲と、失敗を恐れずに挑戦する社会性を醸成します。					
家族支援		送迎時の丁寧な対話や連絡帳の活用により、「その日の出来事」や「成長の兆し」を詳細に共有し、家庭と事業所が想いを一つにした支援体制を築きます。育児不安に対する専門的な相談支援や、保護者様の休息時間を確保するレスパイトケアを積極的に提供し、ご家族の心理的負担を軽減（エンパワメント）することで、家族全体のQOL（生活の質）向上と笑顔あふれる家庭環境の維持を全力でサポートします。	移行支援	将来の就労や社会的自立を見据え、挨拶・報告・連絡・相談といった社会人基礎力（ビジネスマナーの素地）を、日々の活動の中で自然に身につくよう指導します。お子様のストレンジス（強み）や「好きなこと」を早期に見出して徹底的に伸ばし、将来の進路選択の幅を広げるとともに、地域社会の中で自分らしく輝いて生きるための「キャリア観」と「生きる力（ライフスキル）」を長期的な視点で育みます。			
地域支援・地域連携		地域の公園、図書館、公民館などの公共施設を「生きた教室」として積極的に活用し、地域住民との自然な交流を通じてソーシャル・インクルージョン（地域共生）を推進します。学校、医療機関、相談支援事業所とは「個別支援計画」に基づいた情報共有を定期的かつ密に行い、お子様のライフステージの変化や課題に即座に対応できる、切れ目のない一貫した支援ネットワーク（地域連携体制）を構築します。	職員の質の向上	虐待防止、安全管理、発達支援技術に関する内部・外部研修への参加を全職員に義務付け、エビデンス（根拠）に基づいた専門性の向上に努めます。また、定期的なケース会議（事例検討会）を開催してPDCAサイクルを回し、常に「目の前の子供にとって何が最善か」をチーム全体で議論し、支援の内容を客観的に見直すことで、質の高い療育サービスを提供し続ける組織体制を維持します。			
主な行事等		・特別レジャー（水族館・動物園・博物館・職場見学等へ出かけ、本物の体験を通じて知的好奇心を刺激し、社会適応能力を養います）・季節行事（夏祭り、ハロウィン、クリスマス会等を行い、日本の伝統文化や季節の移ろいを肌で感じる情操教育を行います）・創作活動（絵画や工作を通じて自己表現の楽しさを知り、作品を完成させる達成感を味わうことで創造性を育みます）・避難訓練（毎月の訓練で防災意識を高め、自分の命を守る行動を習慣化します）					